



柏床よしおの よっしー通信

2022年4月 6号

発行 柏床由夫後援会

神石高原町油木乙23番地2 TEL(0847-82-2022)

<http://ww4.tiki.ne.jp/~kashiwatoko/>

Email kashiwatoko@mx4.tiki.ne.jp

3月定例議会は、3月3日から23日まで開会され、令和3年度各種会計補正予算、条例改正、令和4年度各種会計予算、人権擁護委員の人事案など65議案を審議し、全議案、原案可決しました。

令和3年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ9736万円を減額し総額136億6307万円となりした。減額は、庁舎・病院建設、各種事業の清算によるもの。増額は、国の補正予算を活用した事業で、地籍調査事業（加速化対策分）、2億4855万円など。

※ウェアラブル端末とは、腕時計型の計測装置で、体温・血圧などを自動計測する装置。

令和4年度予算は、昨年度の合併後最大の予算から町立病院の新築工事が完了したところから、病院事業会計の大幅な減額予算となりました。新町立病院は5月6日（金）から、外来患者診察予定となっています。一般会計の主な事業の内、新しく末病の取り組みとして、腕に装着するウェアラブル端末を使用した高齢者の健康促進に向けた基盤づくり事業が実施されます。

実施概要は、①末病対策による健康寿命延伸（50人）②新たな予防医療の仕組みづくり（20人）の事業となっています。（保健福祉課）

放課後児童クラブ施設改修整備事業では、かねてから要望のあった井関地区での放課後児童クラブの開設要望に対応し、旧くるみ保育所を改修して「やまびこ来見館」を整備し、令和5年1月（予定）に開設予定で、運営は公募予定となっています。

こばだけ保育所新築移転事業は、用地造成、排水路改修、本体工事、外構工事など含め、5億8169万円を整備します。令和5年11月までの完成を予定しています。

【3月議会】

病院事業会計

6億2280万円

（前年比 ▲21億660万円）

一般会計予算

118億3000万円

（前年比 ▲1億7000万円）

令和4年度 総額 164億3240万円

町内小学校・新入生及び全校児童数

令和4年4月1日

学校名	新入生	全校児童
油木小学校	7	47
神石小学校	6	49
来見小学校	12	66
三和小学校	23	121
豊松小学校	2	14
小学校合計	50	297

町内中学校・新入生及び全校生徒数

令和4年4月1日

学校名	新入生	全校生徒
神石高原中学校	21	79
三和中学校	37	88
中学校合計	58	167

出生数

暦年

平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
35	32	25	35	28

2022年度(令和4年) 予算総括表 単位:万円

会計名	予算額	前年増減
一般会計	118億3000	▲1億7000
特別会計	国民健康保険	10億1400 ▲8730
	後期高齢者医療	3億7390 190
	介護保険	19億3890 9745
	簡易水道事業	3億8530 6090
	飲料水供給事業	3740 ▲260
	農業集落排水事業	2億2670 ▲1630
	総合開発事業	330 160
	分収育林事業	10 ▲360
	計	39億7960 5205
	病院事業会計	6億2280 ▲21億660
合計	164億3240 ▲22億2455	



柏床議員の一般質問

有害鳥獣対策について

問 有害鳥獣対策の取り組みは。

答 新たに4項目の取り組みを実施。

柏床川ここ数年イノシシの捕獲頭数も千頭を超える状況となっているが、令和4年度の有害鳥獣対策方針は、新たな取り組みは。

町長「有害鳥獣対策については、本年度同様、捕獲実施隊による駆除、追い払い業務の他、自衛のための電気柵やネット等の導入支援、イノシシ用箱わなの配布を行うとともに、新たに、次の4項目の取り組み



サル被害を受けた白ネギ畑

を行う。

- ① 捕獲業務支援として、捕獲数の最も多いイノシシやシカについて、ジビエ活用のための処理施設搬入に対して、捕獲報奨金の増額支給を予定している。
- ② 増加傾向にある、サルの被害防止対策として、移動可能な組み立て式のサル用囲い罠を新たに4基配置する。
- ③ 捕獲隊の負担軽減として、箱わな捕獲状況確認用無線機器の試験導入を行う。
- ④ 捕獲後のイノシシ等の引取り業務を含めた駆除後の鳥獣処理対策を新たに取り組む。

農業振興支援策

問 農業者・農業経営体への支援は。

答 拡充5項目、廃止1項目。(堆肥購入支援)

柏床川農業振興のための農業者・農業経営体等への支援で拡充されるもの、廃止されるものは。

町長「令和4年度の農業者、農業経営体への支援策については、本年度実施している各種農林業振興策を継続実施する。重点施策として、新規就農者や認定新規就農者を含めた担い手支援を中心に新規事業の取り組み、経営支援・産地拡大支援を行うための予算措置を行った。

拡充事業で主なものは、① トマト振興策として、トマト認定新規就農者の栽培用ハウスの増設、栽培用施設の拡充等、生産量の増加に繋がる支援策に新たな補助事業を実施する。

農業振興ビジョン

問 農業振興ビジョンの計画更新は。

答 5年先を目標として現在見直しを行っている。

柏床川「神石高原町農業振興ビジョン」が、平成24年2月に、平成23年度を初年度として、令和2年度を目標年度として策定され、平成27年度には農業を取り巻く情勢の変化及び施策の点検・評価を踏まえ見直しを行う。とあるが、平成27年度の見直しが行われたのか。

この農業振興ビジョンはどのように活用されてきたのか。今後の農業振興ビジョンの在り方は。

町長「神石高原町農業振興ビジョン」については、令和2年度を目標年度として、平成24年2月に本町における農業の目指す方向を、トマト、ぶどう、和牛を中心に「赤と黒のプロシエク

② ぶどう振興策として、新たに農業経営を開始する新規就農者用の栽培用設備の導入支援を行う。

③ 新規就農者全体の支援策として、既存の農業次世代人材投資資金の給付に加え、初期の設備導入補助も含めた新たな「新規就農支援対策」に取り組む。

④ 国の「みどりの食料システム戦略推進総合対策」として、有機農産物の生産拡大に向け、新たに「有機農業産地づくり推進」対策に取り組む、神石高原有機農業推進協議会の活動支援を行う。

⑤ 法人等の担い手支援として、人材確保や人材派遣、求人情報の情報発信のための人材交流サイトの立ち上げを行う。

廃止事業は、令和2年度より段階的に削減させていただいた堆肥購入支援について、予定どおり令和3年度をもって終了とさせていただきますので、ご理解いただきたい。



新規就農者予定地（李）

ト」推進として、将来ビジョンを定めたもの。

このビジョンの活用・実施について、トマト、ぶどう、和牛に関わる関係機関で組織していた協議会で毎年4月に具体の振興計画を策定し、年度末に、成果確認、課題整理を行いながら、産地拡大の取り組みを進めてきた。

このビジョンの見直しは行っていないが、その後、このビジョンの達成も含めて、李地区の第2トマト団地構想を計画し、またトマト研修制度の開始も含めて現在のトマト、ぶどう、神石牛の振興施策の取り組みに繋がっている。

今後のビジョンで、引き続きトマト、ぶどう、神石牛の産地振興は本町の農業振興の柱であることから、県との協議の中でも引き続きビジョン策定を行うこととし、5年先を目標として現在見直しを行っている。

広島県水道広域連携

問 第3回設立準備協議会の会議内容は。

答 事業計画素案について協議。

柏床II本町の簡易水道の整備計画はあるのか。

町長II国交付金のうち生活基盤施設耐震化等交付金を活用し、現在行っている水道管敷設替工事を、高蓋地区簡易水道に続いて井関地区、四日市地区と、順次進めていくよう計画している。柏床II2月7日に開催された第3回設立準備協議会で協議された内容と、現在の状況は。

町長II「第3回設立準備協議会は2月7日に開かれ、水道企業団としての事業計画素案が議題となり、その資料は広島県公式ホームページで公開されている。事業計画素案は、計画期間を令和5年度から14年度までの10年間とし、水道事業の現状と課題、組織、職員、通信基盤、システム整備、業務運営、施設整備、財政運営についてまとめられたもの。

企業団の職員は市町からの派遣とし、事務分担作業量を踏まえて配置する、通信基盤と総務システムは事業開始までに新規に構築、業務システムは令和8年度に統一するとともに、広域運転監視システムに段階的に移行する。営業窓口、施設保全拠点は事業開始時は現在そのまま維持し、市町と調整しながら段階的に集約する。市町の水道料金体系を引き継ぎ、概ね5年ごとに見直す等の内容を協議をした。

また、広域化に伴い特定簡易水道事業に該当する場合、一定期間、引き続き簡易水道国庫補助金等の対象とする制度改正案が、国の令和4年度予算案に盛り込まれる旨の報告がされた。柏床II広島県水道事業団事業計画素案の中に、各事業に必要な財産は、構成団体から無償で引き継ぎ、事業ごとに区分して管理する。とあるが、必要な財産は何か。

環境衛生課長II施設、設備、事業必要なものすべて引き継ぐとしている。

柏床II計画案には、整備計画期間を令和5年度から14年度までの10年間で、3億円の整備工事が予定されている。企業団に参加した場合、一定期間に限り、引き続き簡易水道施設国庫補助金等の対象とする経過措置を設ける。とあるが、企業団に参加する場合、令和15年度以降、国の補助が無くなるとすれば、井関地区、四日市地区の具体的な

計画も必要ではないか。環境衛生課長II本町の簡易水道整備計画も、国の特別措置での対応で継続される見込み、企業団に参加した場合、この10年間で計画調整が必要となる。

柏床II派遣する職員の身分が、兼任辞令など明確でないが。

環境衛生課長II職員の計画では、派遣で兼任という形、具体には、協定で締結することになる予定である。

柏床II広島市、福山市、尾道市など準備協議会に参加されていないが、理由を聞かれたか。

町長II直接、詳細に理由を聞いたことはないが、ある程度の規模を持たれていることと、広島県水道企業団に参加するメリットが見いだせないのが理由ではと聞いている。



令和4年度新規事業及び拡充事業

事業名	事業内容	規・継	予算額	担当課
農業振興対策事業 (新規就農者育成総合対策事業)	農業次世代人材投資事業(旧青年就農給付金)の全面改正による新規就農者支援対策 ① 機械・施設等導入支援 事業費 1,000 万円まで ② 年間 150 万円×最長 3 年間給付 給付対象者は、①の事業費は上限 500 万円まで	新規	1800 万円	産業課
有害鳥獣駆除対策事業 (地域おこし協力隊経費)	令和4年度設立予定のジビエ活用民間事業者支援及び駆除鳥獣の有効活用の推進 地域おこし協力隊活動経費等(2名募集) 運搬用低温冷凍庫・冷凍車購入補助 650 万円	新規	1450 万円	産業課
情報通信基盤整備事業	かがやきネットの設備更新 令和4年度から計画的に更新 本年度は、三和送信設備の更新	新規	1 億 7712 万円	未来創造課
デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業	デジタル技術を活用した生活環境向上事業(ウェアラブル端末を活用) ① 未病対策による健康寿命延命 ② 新たな予防医療の仕組みづくり	新規	3000 万円	保健福祉課
教育総務負担等経費	どんぐり幼稚園認定こども園移転新築事業補助金	新規	1 億 3043 万円	子育て応援課
放課後児童クラブ施設改修整備事業	旧くるみ保育所を改修し、「やまびこ来見館」を令和5年1月(予定)に開設するための施設改修費	新規	4200 万円	子育て応援課
小・中・高校教育支援事業	海外交流支援事業補助 230 万円 油木高校通学定期券補助 310 万円 ALT 活動事業、外部指導者委託など	拡充	3611 万円	教育課
神石高原町英語教育推進事業	中学校海外交流支援事業補助 250 万円 小中高生海外体験事業補助(10人)200 万円 など	拡充	595 万円	教育課
社会資本整備総合交付金事業	町道宇賀線 2043 万円 町道日の郷線 2826 万円 町道時安線(2工区) 2235 万円 町道小島通学路線 6000 万円			建設課
単独町道整備事業	町道油木豊松線 4000 万円 町道市場野田丸線 2000 万円 町道有元高水池線 1000 万円 町道上組城江線 2000 万円 町道黒木桑木線 5000 万円			建設課

【3月議会を終えて】

3月定例議会一般質問では、農業振興や、水道広域連携について質問しました。

農業振興ビジョンは、本町の長期総合計画の分野別計画として位置づけられていますが、残念なことに、見直しもされていませんでした。置いてきぼりにされたビジョン。今後の農業施策について質問しました。

また、水道広域連携について、広島県水道企業団事業計画素案(案)について、不明瞭な点について質問しましたが、計画素案は、まだまだ具体的検討が必要です。

広島県は、統合ありきで水道広域連携を進めているとしたかと思えません。

近隣の香川県では、広域水道事業団(8市8町)を設立するまで10年間の協議期間を経て設立しています。

企業団を設立まで、設立準備協議会で十分な時間を取って、協議、検討し、企業団への参加・不参加を選択すべきです。